

伊賀市議会研究研修報告書

伊賀市議会議長 様

報告者

議員名 宮崎栄樹

研修会名

第 28 回地方から考える社会保障フォーラム

日 時

5 月 8 日 10 時 10 分～ 5 月 8 日 16 時 45 分

場 所

オンライン参加

【研修の成果】

主催

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

講師

西山正徳氏（社会福祉法人翠生会本部長、一般社団法人メディカル・プラットフォーム・エイシア大代表理事、株式会社国際医療戦略研究所代表取締役、元厚生労働省健康局長）

林俊宏氏（厚生労働省老健局総務課長）

安部敏樹氏（株式会社 Ridilover、一般社団法人リディラバ代表）

目的と目標

目的 社会保障制度の現状と議員が果たす役割について学ぶ

目標 地域の介護保険サービスの今後の検討に活かす

概要

- ・講義 1 西山正徳氏「特別養護老人ホーム施設長として地方自治体に望むこと」

ここでは、特養施設長が何を考えて仕事しているか、介護保険制度の現状、介護人材不足について学ぶ。

- ・講義 2 林俊宏氏「介護制度を巡る動き」

ここでは、介護保険制度の概要（介護保険制度を取り巻く環境の変化、社会保障費用の将来推計、これまでの制度改正の経緯、今回の制度改正について）、今後の主な課題と対応【新型コロナウイルス感染症対応、物価高騰への対応、第 9 期事業計画に向けての対応、給付と負担の見直し、介護報酬改定、介護人材確保と生産性向上、処遇改善、文書負担軽減と行政のデジタル化、介護の DX の推進、地域づくりと介護予防】について学ぶ。

- ・講義 3 安部敏樹氏「持続可能な社会保障のための地方議員の役割とは」

株式会社 Ridilover が取り組む、社会課題をビジネスで解決する取り組みや、公民連携で課題解決をはかるスキーム（PFS、SIB）、行政・議員の姿勢について学ぶ。

所感

伊賀市内では、介護保険サービスの事業所の閉鎖が続いている。今後は、地域の介護保険サービスのあり方を考えるとともに、地域福祉をより進めていく必要があると考える。そのうえで、今回は社会保障制度の現状や今後の方向性を知るためにセミナーを受講した。

講義では、社会保障制度は今後地域で取り組んでいく（近所の人サービスを提供する等）ことが現実的に必要になるという話や、民間事業者は介護予防を進めるスキームを持っている（考えられる）ため、いかにインセンティブをつけて経済合理性の低いエリア（地方都市）で事業展開させていくかが課題であり、それをつくっていくのは行政であり、議員であるという話など学びがあった。今回は、伊賀市の介護保険サービスの今後を考えるうえで、基礎となる知識を学んだように思う。今後、将来のあるべき姿を考えるとともに、特に公民連携の可能性についても研究していきたいと思う。

費 用

旅費：

円

研修参加費：

5,000 円

合計：

5,000 円

5.6.16

第28回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム



最新の動向をつかむ / セミナー開催のご案内

2023年 5月8日(月)

講演予定講師・テーマ

「特別養護老人ホーム施設長として地方自治体に望むこと」
西山 正徳 氏 (仮題)

社会福祉法人翠生会本部長、一般社団法人メディカル・プラットホーム・エイシア代表理事、株式会社国際医療戦略研究所代表取締役、元厚生労働省健康局長

「介護制度を巡る動き」

林 俊宏 氏

厚生労働省老健局総務課長

「持続可能な社会保障のための地方議員の役割とは」(仮題)

安部 敏樹 氏

株式会社 Ridilover、一般社団法人リディラバ代表。2017年、Forbes 誌が選ぶ「アジアを代表する 30 歳以下の社会起業家 30 人」に選出される。朝のTV情報番組モーニングショーのコメンテーターをはじめ、メディア多数出演。

ポストコロナの日本社会と社会保障について、政策担当者や専門家と一緒に考えてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

New Price!!

会場参加

定員 60 名

講師・参加者と
交流できます！

オンライン

からも
参加可能

今回、一般の方も
ご参加いただけます！

参加費 会場参加：25,000円(消費税込)・オンライン参加：5,000円(消費税込)
を5月1日(月)までにお振込みください

会場 <会場参加の方> (貸会議室) AP東京丸の内 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-1-3日本生命丸の内ガーデンタワー3F
TEL: 03-5224-5109 FAX: 03-5224-6109

東京メトロ千代田線、半蔵門線・都営地下鉄三田線「大手町駅」D6出口直結 / JR線・東京メトロ丸ノ内線「東京駅」より徒歩6分

留意事項 <オンライン参加の方> ・当日は Zoomのウェビナー機能を活用したセミナーを受講していただきます。ウェビナーはミーティング機能と異なり、聴講者の方のカメラや音声は通常ではオフになっており、ご質問時のみカメラと音声をオンにできる機能です。PC・タブレット・スマートフォンでご参加いただけます。
・詳しくは事務局にお問い合わせください。

<主催> 地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-11 セントラル大手町 901 社保研ティラーレ内
TEL 03-6273-7772 / FAX 03-3527-1028

<協力> (株)社会保険研究所 / (株)社会保険出版社 / (株)フィスメック



領収書等添付用紙

議員名

宮崎 栄樹

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

項目ごとに領収書添付

- ・領収書等は情報公開に備えて、重ならないように添付すること。
- ・両面になっているものは、全面に糊付けせずに裏面が確認できるように添付すること。
- ・A4以上の大きさを貼り付けるのが適当でないものはそのまま添付すること。
- ・足りない場合は、裏面を利用せずに新しい用紙へ添付すること。

100006

領収書

宮崎 栄樹

様

★

¥5,000-

但し、 社会保障セミナー参加費 /

として

2023年5月8日 上記の金額、正に領収致しました。

税抜金額 4,545

東京都千代田区内神田1-6-11-901

消費税等 10% 455

地方から考える社会保障フォーラム



介護保険制度 をめぐる動き

令和5年5月8日

地方から考える「社会保障フォーラム」

厚生労働省 老健局 総務課 林 俊宏



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

第28回 地方から考える
社会保障セミナー

特別養護老人ホーム施設長と して地方自治体に望むこと」

令和5年5月8日
音羽台レジデンス施設長
(社)メデイカル・プラットフォーム・エイシア
元厚生労働省健康局長
西山 正徳

伊賀市議会研究研修報告書		
伊賀市議会議長 様		報 告 者 議員名 宮崎栄樹
研 修 会 名	空き家問題及び所有者不明土地問題における自治体、地方議会の役割	
日 時	10 月 25 日 10 時 00 分～ 13 時 00 分	
場 所	オンラインセミナー	
【研修の成果】 主催 株式会社廣瀬行政研究所 講師 幸田雅治氏（神奈川大学法学部教授） 目的と目標 目的 空き家対策の基礎や現状を学ぶ 目標 議会（委員会）活動にいかす 概要 空き家に関する現状と課題、空き家特措法と空き家対策条例、都市環境から見た空き家対策、所有者不明土地問題、民法・不動産登記法改正、新たな財産管理制度の活用促進に向けた課題と留意点、令和5年空き家特措法改正、議会・議員の役割について。 所感 特に印象に残ったことは2点。1点目は、空き家問題の根本対策の一つに、住宅政策の転換があるということ。空き家が増加する一方で新築住宅が造られ続けている。これは戦後の住宅政策によるものであるが、これを転換し中古住宅取得を育てていく必要があること。2点目は、自治体の空き家対策の条例は地域の実情にあった条例をつくる必要があること。例えば、現状の法律では長屋は空き家に含まれないので、条例で対象にすることや、空き家の管理不全空き家の指導から命令の迅速化などがある。 今回の研修を受けて、これまで持ち合わせていなかった視点を得られたことが大きな成果だと考える。上記の空き家問題の根本対策や、地域の実情にあった条例制定の他にも、各種法令や他自治体の条例など、伊賀市を客観的に評価する視点が得られた。産業建設常任委員会の所管事務調査をはじめとする今後の活動に活かしていける内容であったと思う。		
費 用	旅費： 円 研修参加費： 15,000 円 合計： 15,000 円	

領収書等添付用紙

議員名

宮崎 栄樹

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領収証

No. _____

宮崎 栄樹 様

令和5年10月25日

金額

¥15,000

内

消費税等

現金

但 10月 25 日受講料(オンライン)として
上記正に領収いたしました

収入印紙

〒112-0011

東京都文京区千石2-34-6

株式会社 廣瀬行政研究所

登録番号 T2011001095530



空き家問題等への処方箋と 女性の政治参画 in 東京

10月25日(水)

講師: 幸田雅治
【神奈川大学教授・弁護士】

10:00~13:00

空き家問題及び所有者不明土地問題 における自治体、地方議会の役割



自治省入省、内閣官房内閣審議官(地方分権一括法案担当)、自治省大臣官房国際室長、総務省自治行政局行政課長、総務省消防庁国民保護防災部長等を経て、神奈川大学法学部教授。弁護士、日弁連では自治体等連携センター委員、所有者不明土地問題ワーキング委員など。主な著書に「行政不服審査法の使いかた」、「地方自治論」、「深刻化する空き家問題」等多数。

1. 空き家に関する現状と課題
2. 空家特措法と空き家対策条例
3. 都市環境から見た空き家対策
4. 所有者不明土地問題
5. 民法、不動産登記法等改正
6. 空き家対策における新たな財産管理制度の活用促進に向けた課題と留意点
7. 令和5年空家特措法改正
8. 議会・議員の役割

14:00~17:00

講師: 三浦まり
【上智大学教授】

女性の政治参画とハラスメント対応

1. 女性の政治参画の現状～世界と日本～
2. 都道府県ジェンダーギャップ指数から読み解く地域課題
3. 政治分野における女性に対する暴力とハラスメント
4. 効果的なハラスメント防止に向けて～イギリスの事例に学ぶ～
5. ワークショップ



慶應義塾大学大学院法学研究科、カリフォルニア大学バークレー校(Ph.D.)を修了。
東京大学社会科学研究所研究機関研究員、上智大学法学部助教授を経て、上智大学法学部教授。ジェンダーと政治、福祉国家論、ケアと民主主義論。ジェンダーギャップの国際比較や国内の地域比較などを通じ、ジェンダー平等な社会を実現するための法政策の研究を行っている。また、意思決定における多様性を確保するため、女性やマイノリティの政治参画やクォータ制の研究を行い、ケアに満ちた社会を構築するための民主主義のあり方について考えている。

空き家問題及び所有者不明土地問題 における自治体、地方議会の役割

2023年10月25日（水）

地方議会議員セミナー in 東京

神奈川大学法学部教授 幸田雅治

空き家、ごみ屋敷、所有者不明土地に関する現状把握

…議会、議員として、地域住民の生活環境に影響を及ぼしている課題に対しては、まず、現状把握をすることが重要である。

空き家、ごみ屋敷への執行部の対応状況

…議会の重要な機能である「監視機能」を発揮することが求められる。執行部の考えを明らかにするとともに、それに対して、議会としての「意見」や「執行部への要請」などを積極的に明らかにしていく必要がある。

様々な生活環境への悪影響に関する住民からの相談と対応

…議員は、地域住民に近い存在であり、住民のニーズに応えるべき役割を担っている。親身になって相談に与り、政策へ反映することが求められる。

条例制定への取り組み

…法律では十分対応できないため、地域の実情に合った条例を議会政策条例として制定する。

議決事件への追加

…空家等対策計画を議決事項として追加する。